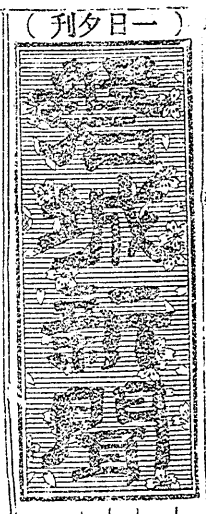
（一日夕刊）



綠蔭隨想抄 □□（一）

渡邊何鳴

○

若葉から青葉へ！何といふすがすがしさであらう。若々しい血潮が蘇つて來て脈管をつたわつて快くながれ動くのを感ずるさゝやかな庭であつてもとぼしいながらに木々があればすが〳〵しい新綠が地上に眼に映れにも伺芭蕉の人と爲りをじみ亭々と聳ゆる、樫や槻の大樹のさまに至つては言ふまでもない。

ことに目ざましいものである。新綠の頃にはいつも旅に出たいと思ふどこの山頂は水涯でもよいどんなところでも新樹の色や匂ひを得られぬところはないがそこに歷史が織り込まれたやうな場所であらうならばそれは又格別の風情があるものである。

○

若蕉の笈の小文を題する紀行文の中にこういふ句がつたのは非常にきいてゐる邑撮寺鑑眞和尚來朝の時船中七十餘度の難をしのぎ給ひ、御目の內膿吹入て終に御目盲させ給ふ尊像を拜して。

若葉して御目の雫ぬぐはゞや

絡撮寺とは奈良にある寺でそこの開山堂には今もなほこの鑑眞和尚の像が安置してあるとふ。鑑眞和尚は戒律宗の開祖で、唐時代の僧、天平勝寶五年十二月十二日に薩摩に着いて初めて日本の地を踏んだとある。この渡航が頗る困難であつて船中七十餘度の難があつたところから見ると、いろ〳〵の心配や疲勞から、盲目となられたであらう、その盲目の尊像を拜んで芭蕉はどんなに心を動かしたであらうかこの句を一句獨立して見るとさう傑れたものとも思はれぬがやはり芭蕉の生活が織り込まれてゐるところにこの句のいのちがあるのであらう、心境の句といふべきである。

もらなふと青葉若葉の日の光り

これも芭蕉の句である日光山に詣でゝ扈從の青葉若葉に寄せた句である、それは若々しい血潮が蘇つて來て脈管をつたわつて快くながれ動くのを感ずるさゝやかな光り」を日光山にかけたところなどは技巧的で却て面白いとも思はれぬが併しこれも安全なり丙と庚と乾が吉

▲三碧　他人の言葉を誤り聞きて意外の失敗する事あり西と乾と丙が吉▲四綠　我が力を賴みとし人の助けを待つべからず西と壬と丁が吉▲五黃　身の程を守り大なることに手出なすべからず丙と壬と乾が吉▲六白　內しともあれ專心外に向つて活躍すべき日巽と壬と乾が吉▲七赤　平押しに押し進むべし緩みは第一の禁物西とじんと甲が吉▲八白　內治まざれば外に向つての鋭鋒も鈍るべし乾と東と巽が吉▲九紫　運氣一轉し此れまでの苦痛は一切免かれ得べし南と北と甲が吉

これも一茶の句であるがこれには若葉にそよぐ爽やかな風が面白く感じられる。

◎明日の吉凶……舊六月　新月　曆七日　曆二日

◎六白　固陋なるときは信用を損じて業に離るべし巽と甲と庚が吉▲二黑　內にありて平和を主とするが尤

休刊日　毎月第一・第三日曜
定價　一ケ月　郵稅共　六十錢　十五錢
廣告料　登行六十回　指定廿錢　增
長岡市愛宕町四番地人　臨濟寺　輪
發行所　長岡市大字長岡町十六番地　城新聞社
電話五六八番

講談　高山彦九郎

（176）中西洋々作

市施長春畫

上府の命令（七）

「いや、それにて仔細は、よう分つた」

左工門尉は、言葉をかへて云ひました。

「ついては、貴殿は左樣に由緒ある家柄なればいづこかに仕官なさるに必はないが、あれば御世話申さうと存ずるが……」

かう云つて、水を向けました。が、それに甘んずる樣な彥九郎ではありません、や、それよりも、もつと大きな望みを持つてゐる彥九郎では、殊には、左工門尉の態度に依つて、幕府の誠意が自分にないことが明らかになりましたからなんでは、そんな口車にのるものではありません。

「接角のた言葉ではございますが、拙者仕官の望みは毛頭ございませぬ」

かうきつぱりと云ひきつて。

「元來、君子の主に仕ふるのは、義を以てなすとござります。義を行ふところがなければ、幾百千萬石の高祿をはみましても、それは石瓦同然官位も何も反古同然でございます。かく考へます故ばかり乍ら仕官せんなどの望みは絕えてございませぬ」

幾らか怨氣をさい含めて云ひました。

「ふゝむ」

輕い冷笑が、その唇のあひました。やがて左工門尉は、また言葉をつぎました。

「しかし、それでは一体何を以て貴殿は業としてゐらるのぢや、百姓の家に生れながら、たゞ農業に手をつけぬばかりか、家業にはそしむ兄をうとんずるといふことではないか」

かう、高飛車に云つて。

「それは祖父母孝養のことしいほめべき行ひではござるが、さりとて、兄弟の相憎しむといふことは、斷じて許しがたいことぢや、た上表に於かせられても、このことはすべて御承知であらする」

彥九郎も、このことを云はれては、流石に返す言葉もみには出ませんでしたがやがて自分を取りもどして。

「ハムよりうまい

鹽豚販賣
田町
三二三屋

ひたい左工門尉が質問の態度、始め掛圖を、わざ〳〵傾けて置いて、彥九郎の心の中をさぐらうとした左工門尉の老會な策略。

思ひ出せば、どれ一つとして愉快なことはありませんでした。

會見を終つて奉行の役宅を辭して宿への歸り途彥九郎は、幾度も〳〵唾をはきだしてはいま〳〵しそうに舌打ちしました。

「あゝお、せめて松平越中守に會ひたいなア」

やるせない心の煩悩をひこ九郎はさういふことに依つて、やつと慰めました。

◎この欄への投書をカンゲイします。なんのキヂイもありません、諸兄の活躍にまかせします。◎

この言葉をかへす樣で、牛肉は、しかし一茶の境涯なり性質から見るときはこの句に涙ぐましい味ひのあるのを感ずる。

かわくまで繩張る庭や若葉吹く

好評！　好評!!　大好評!!!
婦人倶樂部浴衣の一二重福引付大賣出し
賣出期間　七月一日より七日間
大日本雄辯會講談社の懸賞金貳萬圓
東北持約店……三井呉服店にて賣出し期間中婦人倶樂部浴衣御買上の方に限り一反毎に福引券呈上
賞品　一等　婦人倶樂部浴衣一反　二等大典　絞一反
三等　白地反物一反　四等化粧用ガーゼ手拭一本
——空籤ナシ——
夏物新安値品大賣出し
驚異的獨自の廉價☆白熱の七日間☆
是非々々御家族一同樣御知合の皆々樣御誘合せの上御來店御用命の程
特價品
◎モス着尺　一圓九十錢　◎江戸中形　一圓ヨリ
◎模樣本銘仙　三圓八十錢　◎白縞　四十八錢
◎縞本銘仙　三圓五十錢　◎手拭中形　六十五錢
外かや類。中形類大提供
三井呉服店

宮內省御用達
ヒデタ醬油
醸造元　飯子醬油株式會社
平町田町
特約店　廣瀨支店
電話五四番

平町五丁目角
大販賣店　山野邊藥局

電話番號が變りました……
電話八六〇番
平町新田町
青柳

夜診療間
胃腸　梅毒
內科十二指腸虫病　淋病　婦人病　皮膚病
專門部　內科　外科
松村醫院
胃腸病　性病科
（平南町電話一〇七番）

吉田眼病病院
平町紺屋町

春夏向の小供洋服生地と新柄レース
一寸巾から二尺巾まで
澤山入荷致しました
婦人手藝材料
ハシモトヤ糸店
平町田町

平町田町
高久病院
醫學士高久忠
新潟醫學士赤羽清
藥劑士佐竹菊
電話五一三番
內科小兒科
外科花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

ホシ胃腸藥
健康は胃腸から

酷熱の夏が訪れ 各濱そろ〳〵活氣

今年濱の家賃調べ 昨年より三四割安

酷熱の夏が訪れて小名濱、四倉、豐間勿來等の海水浴場では早やくも避暑客を迎へる準備に取掛つてゐるが今年は不景氣の關係で各濱共に貸家貸座敷を求むる人が更らになく貸家の連中は悲嘆の聲を放つてゐるが確かな筋で調査した本年の家賃相場は海岸の一等地で八畳一間六畳一間それに玄關でも付いて居れば百圓位から八十圓場末になれば六十圓から四十圓止り海岸からの距離に依つては二十圓位いまである、貸座敷は八畳一間を占領して三十圓も出せば充分に安い所もあるが避暑氣分を味ふは矢張り二十圓以上出さねば駄目だらう、以上は四ッ倉、小名濱等の相場だが前年と比較して大體三四割安と見れば よい此の他豐間、江名、四倉、豐間勿來等の海水浴場では早やくも避暑客を迎へる準備に取掛つてゐるが今年は不景氣の關係で各濱共に貸家貸座敷を求むる人が更らになく貸家の連中はあたりの半額位で相當の家賃相場は海岸の一等地で八畳一間六畳一間それに玄關でも付いて居れば百圓位いから八十圓場末になれば六十圓から四十圓止り海岸から の距離に依つては二十圓位いまである、貸座敷は八畳一間を占領して三十圓も出せば充分に安い所もあるが避暑氣分を味ふは矢張り二十圓以上出さねば駄目だらう、以上は四ッ倉、小名濱等の相場だが前年と比較して大體三四割安と見れば よい此の他豐間、江名、四倉、豐間勿來等の海水浴場では早やくも避暑客を迎へる準備に取掛つてゐるが今年は不景氣の關係で各濱共に貸家貸座敷を求むる人が更らになく貸家の連中はあたりの半額位で相當の家賃相場は海岸の一等地で八畳一間六畳一間それに玄關でも付いて居れば百圓位いから八十圓場末になれば六十圓から四十圓止り海岸から の距離に依つては二十圓位いまである、貸座敷は八畳一間を占領して三十圓も出せば充分に安い所もあるが避暑氣分を味ふは矢張り二十圓以上出さねば駄目だらう、以上は四ッ倉、小名濱等の貸家